

# 受傷部位

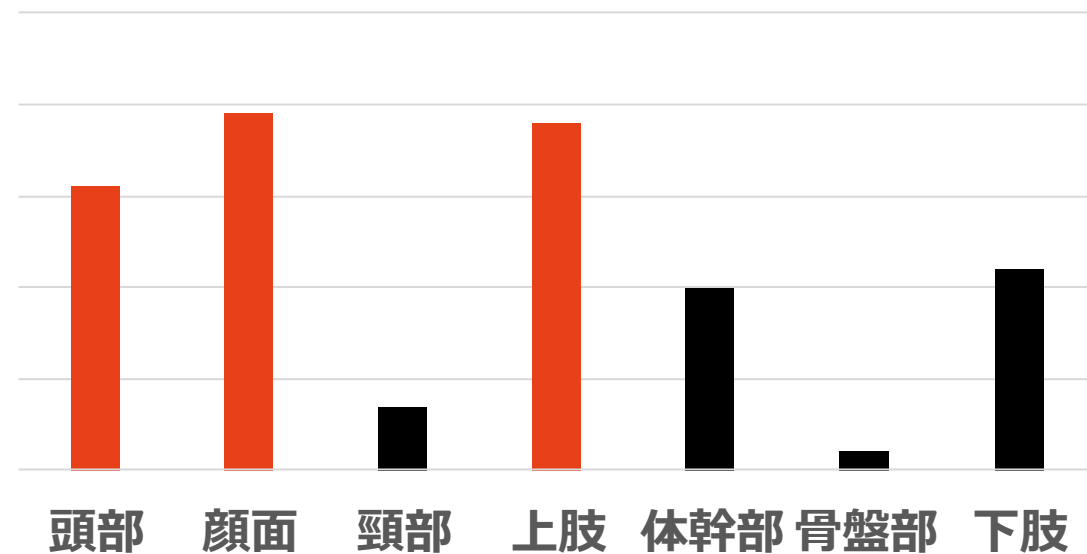
- 防御に伴う上肢の受傷は  
前腕の裂傷や咬傷が多い

(高橋学, 日外傷会誌, 2017)

- 本研究でも顔面に続き上肢の  
受傷が2番目に多かった

防御姿勢により上肢は受傷するが…

重症・致命傷となる**頭頸部の受傷は防げる**



## うつ伏せによる防御姿勢

- 重症・致命傷となる頭頸部への受傷を防ぐことができる
- 上肢の受傷であれば、整形外科医による適切な治療を行うことで  
残存障害を少なくすることができる



# 本研究の限界

- 秋田県における調査であり、全例**ツキノワグマ**による被害  
**ヒグマ**に対する有効性は調査が行えていない
- 同じ状況で防御姿勢の有無による被害状況の比較はできおらず、  
防御姿勢が絶対に安全な方法とは言えない

# 研究のまとめ

- クマによる被害がヒトの生息圏で増加している
- うつ伏せによる防御姿勢により少しでも重症、致命傷となる攻撃を防ぐことができる可能性がある

# うつ伏せによる防御姿勢

うつ伏せになる防御姿勢が  
重要そうなのはわかった

でも実際に防御姿勢って  
取れるんだろうか？



# メディアへの出演



【秋田】「クマ被害を減らしたい」有効な防御姿勢を研究-石垣佑樹・秋田大学大学院整形外科学講座医師に聞く◆Vol.1

1日に6人が救急搬送、重症免れた被害者の診療がきっかけ

2025年9月17日 (水)配信 m3.com地域版

【秋田】「着眼点が独自」ツキノワグマへの防御姿勢研究が最優秀演題賞-石垣佑樹・秋田大学大学院整形外科学講座医師に聞く◆Vol.2

県整形外科医会で評価、メディアでも報道

2025年9月24日 (水)配信 m3.com地域版



# メディアへの出演



解説いただいた専門家

**石垣 佑樹**

秋田大学整形外科 医師



➤ **うつ伏せによる防御姿勢**を多くの人に知ってもらえた

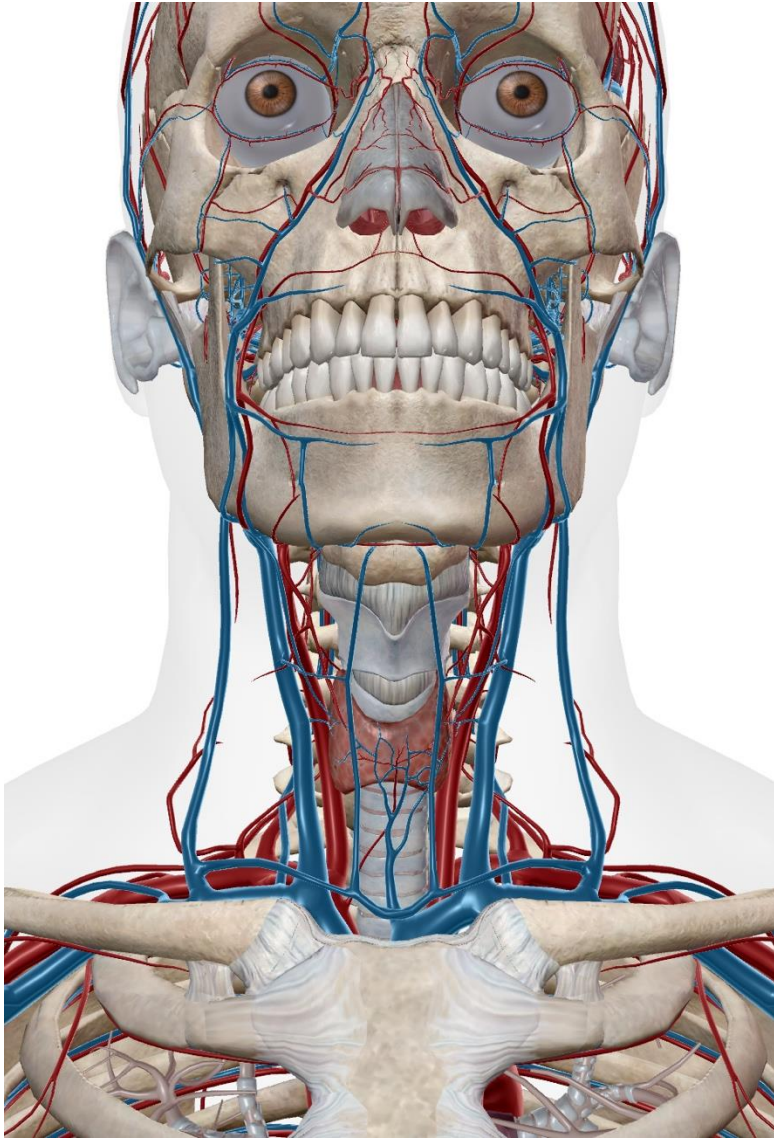
➤ 色々な意見をいただくことができました

➤ 一番大事なことは

**どこを守る**ことが大事なのかを知ってもらう



# 頰部の受傷例



(Oshima T,Forensic Science International,2018)

# 一番大事なことは

➤至近距離でクマと遭遇した際には攻撃を避けることができない

→可能なら防御姿勢をとることで身を守ることにつながります

➤防御姿勢を取る余裕がない時には

→**頭頸部（頭、顔面、首）**への攻撃を防ぐことが重要

# | 今後の課題

➤ ヒグマに対する効果の検討ができていない

➤ うつ伏せにいつまでなっていればいいのか…

うつ伏せによる防御姿勢をとって最初は軽傷だったが、  
顔をあげてしまった追い打ちを受けた人がいた

# Take Home Message

- クマと遭遇した際には、うつ伏せによる防御姿勢で重症・致命傷となる受傷を防ぐことができる可能性がある
- 防御姿勢を取れない際には、重症・致命傷となってしまう頭頸部への受傷を避けることが重要である